

2017年3月期第3四半期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1 単価の見直しに関する見解を教えてください。

- 生産性向上など、コストリダクション施策をこれまで進めてきましたが、想定を上回る宅急便取扱数量の増加と労働需給の逼迫による急激な経営環境の変化で、自助努力だけでは吸収しきれない状況であると認識しています。
- サービス品質と適正な利益を維持するためには検討すべき課題として認識しておりスピード感を持って取り組みます。
- 消費者の意識も含め、業界を取り巻く環境全体が変わるべき時期にきていると考えています。
- 方法論やタイミングについては、改めてお知らせします。

Q2 労働需給が逼迫する中、労働力確保における今後の見通しと対策について教えてください。

- 第3四半期以降、都市部を中心に採用が一層難しくなっており、今後も逼迫した労働環境が続くものと考えています。
- 業務量が増加する中、サービス品質を保っていくための労働力を確保するために、外部戦力も含め人的コストが増加する見通しです。
- これからの労働力確保においては、労働の現状確認をしっかり行い、多様な人材が働きやすい環境づくりを整え、政府の「働き方改革」に対応していきます。
- また、「バリュー・ネットワーキング」構想のもと、今後も新たな技術を活用し自動化や省人化による生産性も高めていきます。

Q3 増加する物量に対して、輸配送ネットワークをどのように進化させるのか教えてください。

- E-コマース市場の想定以上の成長により数量が伸長する中、荷物の集中や不在率の高さなどエリア特性を踏まえ、多様化するお客様のニーズに対応した宅配ロッカーなどの非対面を中心としたネットワーク等の可能性について検討していきます。
- 新しい集配システム(8次NEKOシステム)の構築などによる、集配の効率性を高める取組みをこれまで以上に進化させていきます。

以上